

千葉県 神道青年会 会報

香指神社 (鴨川市)

発行所
千葉市中央区都町 4-3-1
千葉県神社庁内
電話 043(310)7166
発行人 千葉県神道青年会

令和7年12月1日
第75号



千葉県神道青年会
会長 鵜澤 幹夫

先ず以て、謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げます。また、神宮におかれましては第六十三回神宮式年遷宮に向け、諸準備恙無く進んでおられますことお慶び申し上げます。

さて、本年四月の総会において、千葉県神道青年会会長の大役を拝命することとなりました。もとより浅学菲才の身ではありますが、副会長、事務局長以下役員一同の協力を得て、斯界発展の為に全力を尽くす所存です。で、先輩諸賢におかれましては更なる御指導御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。また、会員各位におきましては会の活動への御協力を改めてお願いいたします。

本年は終戦より八十年という節目の年に当たり、靖國神社や全国の護國神社では御英霊の慰霊・顕彰のための活動を次世代に受け継ぐため、様々な事業が行われています。

当会におきましても主に十代、二十代の若者を対象に参加者を募り、千葉縣護國神社、靖國神社の参拝旅行を企画したところ、十年前に開催した「こども神社探検隊 神主さんと体験するむかしあそび」に御参加くださった方々を始め、多くの方にお集まりいただき、御英霊への理解を深め、平和の尊さについて学ぶことが出来ました。また、五月には前期より引き継いだ「神主さんとの縁結び「神婚」―縁結会―」を開催しました。会場をお貸しいただいた登渡神社宮司の星次百太郎様をはじめとして、多くの方の御協力の下、たくさんの方に御参加をいただき、確かな手応えを感じることが出来ました。

この事業の開催をもって無事に創立七十五周年記念事業を納めることが出来ました。今期は会員数の減少によって生じている様々な問題を、会則の一部変更並びに、委員会制を活用することで解消し、さらには会員が参加しやすい環境を整えていくことを目指しております。また今後の事業を効率的に進めていけるように、Googleドライブなどを活用して各種資料の整理や雛形の作成を行っております。

このような当会の活動も千葉県神社庁を始め、県内宮司、先輩諸賢からの御支援、御協力のもとに進めさせていただいております。ここに、改めて感謝を申し上げますと共に、今後とも御指導御鞭撻賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。



創立七十五周年記念事業実行委員長 市川 真也

令和七年二月十九日、京成ホテルミラマールにて当会創立七十五周年記念大会を開催いたしました。

記念大会開催に向け、まず創立七十五周年記念事業実行委員会を結成するにあたり、「再興と継承」を主題に掲げました。「再興」には、コロナ禍で様々な事が途絶えかけた中、脈々と受け継がれてきた歴史や文化を復活させたいという思いを、そして「継承」には当会で引き継がれてきたその思いを、次の世代に繋ぐ意味が込められております。

遡ること五年前、当会創立七十周年記念大会の直後に、新型コロナウイルス感染症が世界中に広がりました。自粛・規制等あらゆる行動に制限がかかる社会の中で、当会の歴史を繋ぐ為に、「何かできることはないか」と日々模索し、活動を続けて参りました。ウェブ会議の早期導入、SNS発信、データの共有化等、新たな事にも取り組む機会ともなりました。そして、令和五年五月コロナウイルスが五類感染症へ移行し、社会が元の生活を取り戻すべく動きだしました。

記念大会は、前日、また早朝から会員一同準備を進め、県内外からおよそ一三〇名の多くの御来賓をお迎えしました。

第一部の記念式典では、この二年間事業を展開してき

た麻栽培農場視察研修、千葉県戦歿者慰霊祭、英霊顕彰研修会、禊錬成会、縁結会、家庭祭祀啓発事業等、各事業の報告を行いました。

第二部の記念講演会では、千葉県南房総市千倉町出身でスタートアップファクトリー代表鈴木おさむ先生に、御講演をいただきました。千倉町の幼少期の思い出から、学生時代、放送作家時代、そして結婚に至るまで、借金や出産、波乱万丈の人生の中で、当時の御自身の経験や考えを交えた講演は、多くの方や若手神職にも参考となる機会となりました。

昨今、日本社会の中では人口減少、少子化の問題が年々大きくなり、この問題は全国の神社界、青年会にも広がっております。そのような状況の中で、今回若手会員が周年の各事業研修、記念式典の準備などに初めて関わり、様々な課題に向き合う姿に、会員の大きな成長を感じました。これらの経験を一つの糧として、青年会の歴史を次世代の会員へ繋いでいき、また五年後の創立八十周年記念大会が盛大に開催される事を願っております。



千葉県神道青年会創立七十五周年記念大会

シリーズ

神社巡り

(その七十一)

安房支部

香指神社

かざし

○鎮座地／千葉県鴨川市太海 三三七〇
 ○御祭神／主祭神 弟橘姫命・相殿 素戔嗚尊
 ○御祭礼日／七月第四土曜・日曜日 十月十五日

(由緒・沿革)

景行天皇四十年、日本武尊が東征の折、神奈川県は三浦半島走水へ赴いた際に、妃である弟橘姫命は海中へ身を投じ、海神の怒りをお鎮めになりました。その時命が身に付けていた簪(カンザシ)が、波太(現在の鴨川市太海)の浜へと流れ着き、これを御神体として社殿を建立し海上安全の守護神として奉斎したのが始まりと言われています。

流造の本殿外陣彫刻の裏書には、元禄十四辛巳(一七〇一)とあり、安房郡の神社建築の中ではかなり古い部類に入ります。また、眼下に広がる磯景色は古くから景色が良く、近代美術界では「西の波切(三重県)に東の波太」と称され、多くの美術家たちを魅了しました。



川瀬巴水『旅みやげ第三集房州太海』

意富比神社植樹について

東葛飾支部 藤森 胤尊

令和七年三月十七日、当会の恒例行事である植樹活動を行いました。神社の杜の保全と緑化を目的に昭和五十五年に始まった活動で、本年は意富比神社(千葉敏宮司)にて実施しました。会長以下十名、船橋大神宮氏子青年会の御協力を得て、姫沙羅(ヒメシヤラ)を一本植樹しました。

当日は晴天に恵まれ、正式参拝ののち植樹を行いました。また灯明台(千葉県有形民俗文化財)や常磐神社(撰社)の内部を特別に見学させていただき、千葉宮司から彫刻に込められた意味等を伺うことができました。

植樹に際しては、氏子であり、テレビ番組「TVチャンピオン」で優勝経験を持つ植木屋「木村グリーンガーデン」様の指導を受け、根が十分に広がるよう穴を大きめに掘り、添木は三点以上で支えるなど、苗木が育つための基本を学びました。多くの方々に支えられ、無事に終えられましたことに感謝申し上げます。

ただし植樹は「植えて終わり」ではありません。この夏、姫沙羅はカナブンによる食害で葉が失われましたが、助言をいただき薬剤を用い、被害を抑えることができました。また降水量の少ない年であったため、夕方には水やりを続けていきます。今回植樹した姫沙羅がやがて大きく成長し、未来に受け継がれていくよう、今後も管理に努めてまいります。



令和七年度 総会

君津支部 佐川 裕樹也

令和七年四月二十一日、京成ホテルミラマールにて令和七年度千葉県神道青年会総会が開催され、古谷意誠前会長より鶴澤幹夫新会長への引き継ぎが行われました。

昨年度行われた当会創立七十五周年記念事業では「継承と再興」をテーマに各事業を展開しました。今期の活動の主軸として、十年前に行われた「終戦七十年・こども神社探検隊」を引き継いだ大東亜戦争終戦八十年に関する事業を計画。御英霊の奉慰顕彰は勿論のこと、国体の要となる若い世代に戦後平和への関心を高める活動を行っていきたいと考えております。

今後と受け継がれてきた諸先輩の功績を辿り、新たな道を拓くべく会長以下役員として会員が一丸となって活動に尽力していくよう決意しました。



令和七年度総会

役職	氏名	支部	奉務神社	職
会長	鶴澤 幹夫	長生	玉前	権禰宜
副会長	市川 真也	原大	宮神	権禰宜
副会長	曾川 昌大	取香	取神	権禰宜
副会長	岡嶋 巖成	房安	房神	権禰宜
理事	伊原 正武	千葉	安神	権禰宜
理事	露崎 忠正	原鶴	峯八幡	宮禰宜
理事	千葉 統彦	意富	比神	禰宜
理事	宮本 智勇	東葛	飾多	神禰宜
理事	金親 輝典	山武	稻生	神禰宜
理事	曾川 昌大	取香	取神	宮禰宜
理事	松山 義仁	海匠	鈿山	神禰宜
理事	宮寄 奈々子	津人	見神	社禰宜
理事	小林 高紀	隅瀧	口神	社禰宜
理事	江澤 徹安	房安	房神	社禰宜
指名理事	影山 博一	千葉	葉稻	荷神
指名理事	小田 正純	原白	幡神	社禰宜
指名理事	藤森 胤尊	東葛	意富	比神
事務局長	佐川 裕樹也	津八	劔八幡	社禰宜
監事	小林 悠紀	夷隅	遠見	岬神
監事	野老 誠徹	山武	日吉	社禰宜
相談役	古谷 意誠	東葛	飾訪	社禰宜
顧問	平田 長保	市原	高瀧	神禰宜
顧問	鈴木 豊幸	市原	高瀧	神禰宜
事務局員	藤森 胤尊	東葛	飾意	富比
事務局員	金親 輝典	山武	稻生	神禰宜

令和七年度千葉県神道青年会 役員名簿 (令和七年四月二十一日現在)

縁 結 会

香取支部 曾川 昌大

去る五月二十四日に千葉市・登渡神社（星次百太郎宮司）を会場として「神主さんとの縁結び―縁結会―」を当会創立七十五周年記念事業として実施しました。周年事業を検討する中で、他の都道府県の神社庁や青年会において婚活事業の実例があることを知り、当県斯界の将来を考え、今回は神職と神社に興味のある女性を対象とした事業を行う事となりました。

事業当日は、当会会員および県内神職の男性参加者十五名と、各神社社頭や当会HP・SNSの募集から応募いただいた女性参加者十三名が集い、各種企画を通して交流を深めました。神道や伝統文化を体感できる婚活として、神前に奉奠する玉串を参加者が協力して奉製し、昇殿参拝に臨む神社体験企画や参加者同士がお互いを知るための自己紹介タイムズ、お互いが自由に交流するフリートークの時間などを設けました。参拝に際して青年会員による雅楽の生演奏や、交流の時間には「映え」も意識した和菓子とお抹茶を用意するなど、開催趣旨を意識した演出も心がけて開催しました。

事業実施の成果はというと、今回は、この事業を通じての一度きりの交流にとどまった方もいれば、連絡先を交換して継続的に交流を深めている方も、さらには交際に発展した方もおり、初開催ながらも一定の成果を感じることができました。



創立三十周年記念 第三十一回 神青協 一都七県協議会総会

君津支部 宮崎 奈々子

令和七年六月十七日、創立三十周年記念第三十一回神青協一都七県協議会総会が、茨城県神道青年会の主管により茨城県水戸市、ホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸にて行われ、会長以下十五名が参加した。

皇居を戴き、我が国の首都たる東京地区と首都圏を形成する七県の関東地区の同志により組織された一都七県協議会。この総会を以って長きに渡り私どもに御指導くださった土師幸士顧問が退任され、また馬場裕一前会長が一年間の任期を終えられた。

お二人からの御挨拶では、創立三十周年を迎えるにあたり、協議会設立までの諸先輩方の並々ならぬ御苦労への労いと、衷心よりの感謝が熱意を以って述べられた。時代の波が早く反映される首都圏で奉仕する神職の我々が、令和の諸問題にどう対応すべきか。諸先輩方を仰ぎ、各都県が連携を取り合い、知恵と想いを共有する事の重要性を考えさせられた。

講演会では、「あなたの知らない名字の世界」と題し、名字研究家であり、各メディアにも多く御出演されている高信幸男先生に御登壇いただいた。名字が担ってきた歴史的役割や変遷、今も存在する全国各都道府県にお

ける珍しい名字を御紹介いただき、当千葉県においては「匠磋」や「野老」等があり、会員一同楽しく学びを深めた。今回、担当県の任を務めていただいた茨城県神道青年会と当会とは、周知の通り親睦事業が多く、又隣り合う県として協力しうる機会も多い。

総会中、茨城県神道青年会 塙敬比古会長の御挨拶においても、「納豆のように粘り強い精神を」と仰っておられた。一都七県青年神職一同、粘り強く連結し、困難な時勢に対しても、粘り強い努力を続けていきたい。



創立三十周年記念 第三十一回神青協一都七県協議会総会

合同野球練習会 ならびに野球大会報告

市原支部 小田 正純

令和七年七月二日、茨城県神道青年会との合同野球練習を行う予定でしたが、当日はあいにくの雨模様となつてしまい、今回は予定を変更してラウンドワン習志野店のスポーツチャで親睦行事を執り行いました。スポーツチャで様々なスポーツを通して両県の団結力をより高めることができました。当日は千葉県から七名、茨城県から七名の合計十四名が集まり、スポーツチャ後の親睦会も賑やかな親睦の場となり両会の絆はより深まりました。

また令和七年九月二十四日、第二十九回一都七県神道野球大会が、大井ふ頭中央海浜公園野球場にて開催されました。当会からは九名の参加者が集まり、茨城県神道青年会との合同チームで大会に臨みました。トーナメント戦の第一試合は東京都神道青年会野球部と対戦し、初回から東京の打線が繋がり先制点を許してしまい、無念にもそのまま得点を覆せず敗れてしまいました。第二試合は山梨県神道青年会との親善試合に臨みました。好守備で山梨に得点を許すことなく、攻撃では二度のランニングホームランもあり勝利を収めることができました。



野球を通して培ったチームワークを今後の青年会で発揮していきたいと思いま

神道行法錬成研修会を終えて

東葛飾支部 千葉 統彦

去る六月十一日、夏の訪れを感じ始めていたこの日、九十九里海岸にて当会主催の神道行法錬成研修会が開催されました。講師に神社庁錬成行事道彦・人見神社宮司の宮寄慎先生を迎え、会員七名、会員外四名の計十一名が参加しました。本研修の目的は、神明奉仕に不可欠な神道行法を修得することにあります。半日の限られた時間ゆえ、鎮魂行は座学のみとなりましたが、禊行については座学と実践を通じて学ぶことができました。

当日はまず、長生郡一宮町鎮座の玉前神社(栗原崇次宮司)に参集し、正式参拝をさせていただきました。その後は会場であるホテル一宮シーサイドオーツカに移動。講義では、鳥船を含む禊行の一連の流れや鎮魂行に関して実演を交えて解説していただき、石上神宮との関連や安全に配慮した禊の在り方など、多角的な視点から御教示を賜りました。続いては九十九里海岸にて実際に禊行を開始。折しも天候は崩れ、雨脚が強まるなかで講師以下鳥船行事を行い、そのまま海へと押し入りました。荒波に揉まれつつ大祓詞を奏上するうち、参加者一同、自然と一体となる厳粛な感覚を覚え、心身を清められる思いを抱きました。

会としては今後、鎮魂行の実践を含めた研修の再開も視野に入れております。引き続き多くの方の御参加を期待申し上げます。



祭式研修会および教養研修会報告

夷隅支部 小林 斎紀

令和七年七月十六日、千葉県神社庁に於いて当会主催の研修会を午前・午後に分けて開催し、午前は鶴澤会長以下二十五名、午後には同じく二十四名が受講しました。

午前は千葉県神社庁祭式講師である意富比神社権禰宜の千葉由美子先生をお招きし、「立礼の基本動作」をテーマに祭式研修会を行いました。立礼における基礎作法を一つひとつ確認し、大祭式の一連の流れについて所役を割り振りながら、各行事の流れの確認をしました。講習中には活発に質問が交わされ、受講者の熱意が感じられました。

午後は人見神社宮司の宮寄慎先生をお招きし、「神葬祭における本義を学ぶ」をテーマに教養研修会を行いました。出羽三山信仰についてのお話を伺い、神葬祭の流れや祭具に関する具体的な内容も御教示いただきました。特に祭儀中に奉仕される和琴の演奏や、誄歌については参加者一同が先生の所作を真剣に注視していました。

今回の研修会では、参加者全員が熱心に技術向上に取り組み姿が見られました。今後も継続的に開催し、県内神職の祭式力向上に繋げていきたいと考えています。



千葉縣護國神社・靖國神社参拝

安房支部 岡嶋 厳成

去る八月十八日、「神主さんと行く神社参拝の旅 千葉縣護國神社・靖國神社」と題した参拝を行いました。会員や一般参加者など約四十名が参加しました。

これは大東亜戦争終結から八十年を迎えるに当たり、未来を生きて若者達へ向けて、護国神社や英霊への理解と平和の尊さを学ぶ事を目的としたものです。

千葉駅集合後にバスで移動をし、千葉縣護國神社にて正式参拝。その後竹中啓悟司の講話を聴講しました。御自身が遺骨収集のために海外へ赴いた経験や、神社に奉納された英霊の遺書に触れ、これからの未来を担う若者達へ慰霊の重要性を語られました。

午後には靖國神社へ場所を移し、権宮司の村田信昌様より靖國神社の歴史や終戦八十年を迎える現状等を伺いました。正式参拝を終えた後には、特別展が開催されている遊就館を拝観。参加者一同真剣な面持ちで見入っていました。

バスは千葉駅に戻り解散となり、参加者からは「竹中宮司からのお話や遊就館への展示品から英霊追悼の思いと平和の祈りが一層深まった」といった声が寄せられました。

私は靖國神社御本殿の御扉の前に進むと、いつも胸に熱くこみ上げるものを感じます。今回初めて靖國神社へ正式参拝をした会員も、感じるものがあったのではないのでしょうか。今ある平和がどのような歴史の上に成り立っているものなのか、ということも一人でも多く知っていたら、この現代の平和が永久に続いていくことを願って、広く英霊顕彰に努めて参りたいと思います。



千葉縣護國神社 秋季大祭・終戦八十年奉幣臨時大祭

山武支部 金親 輝典

令和七年十月十日、千葉縣護國神社において秋季大祭・終戦八十年奉幣臨時大祭が素晴らしい青天のもと厳かに執り行われ、当会より祭員として五名が奉仕させていただきました。

斎主を竹中啓悟司が務められ、伶人を千葉縣神社雅楽会より四名、辛櫃奉昇奉仕者は隊友会の方々に御協力を賜り、当会からは鶴澤幹夫会長が参列しました。

此度の臨時大祭では、終戦八十年にあたり、全国の旧指定護國神社五十二社に畏き送りより特別のお召しを以て幣帛料の御奉納がございました。

祭典では、国難で殉ぜられた郷土の御英霊に対し、竹中宮司が幣帛を献上された後に祭詞を奏上、白井日出男奉賛会会長と小林喜久男遺族会会長が祭文を奏上されました。また神楽舞稽古会の二名の舞姫が、みたま慰めの舞を奉仕されました。

此度の大祭に奉仕させていただき、御英霊に今一度感謝を申し上げ、我が国を思う愛国心を再認識するとても貴重な機会となりました。

現在、県内の各遺族会は、高齢化に伴う縮小や解散など、様々な課題を抱えていると伺っております。いまこそ、私たち青年神職が中心となり、英霊顕彰の意義を次代へと伝えていくことが大切であると感じております。

今後とも、我が国の平和が永く続き、御英霊の御心に応えられるよう努めてまいります。



夏季献血活動

千葉支部 伊原 正武

千葉県神道青年会による献血活動は、昭和五十七年総会の発案から今日に至るまで続いてきた当会伝統の活動です。

今年度は、八月四日に献血の呼びかけ活動を行い、猛暑の中、熱中症対策をしながら六名の会員が活動を行いました。

週初めは献血者が土日にくらべ減少するそうですが、当会の献血の呼びかけ活動の影響もあり、予想を超える献血者があったと、献血ルームの方から労いのお言葉を頂戴しました。

現在、日本国内では一日三千人の方が輸血を必要としており、近年、血液が不足しています。

今回の活動を通じて、我々若手神職は、社頭での神明奉仕だけではなく、このような社頭外での活動も社会貢献の一助であり、敬神生活の綱領にもある、「世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと」を実践する意義ある活動であると思えます。

今後とも、日本赤十字社様・モノレールちは駅献血ルームの皆様との協力を仰ぎ、この活動を続けていきたいと思えます。



■ 令和6年度 千葉県神道青年会活動報告

担当	県	一七	全国	教化	寄附	広報	庶務	月	日	行 事 名	付 記
	●							4	10	千葉縣護國神社春季大祭 参列・助勤	千葉縣護國神社 会長以下5名
		●						4	10	神青協一都七県協議会第1回定例会議	日本文化興隆財団 会長以下2名
	●							4	18	令和6年度総会	千葉市三井ガーデンホテル 会長以下20名
			●		○			4	23	神道青年全国協議会創立75周年記念大会	明治記念館 会長以下9名
			●					4	24	神道青年全国協議会第75回定例総会	神社本庁 会長以下2名
	●							5	16	令和6年千葉県神社関係者大会助勢	勝浦市芸術文化交流センター 3名
		●			○			6	3	神青協一都七県協議会第30回総会(千葉主管)	TKP東京ベイ幕張ホール 会長以下25名
			●		○			6	4	福島県神道青年会創立75周年記念式典	郡山ビューホテルアネックス 会長以下3名
周年	●				○			6	11	麻栽培農場視察研修	栃木県鹿沼市野州麻工房 会長以下11名 会員外6名
	●							6	17	茨城・千葉合同野球練習	神立公園野球場 会長以下8名
			●		○			6	19	神道青年全国協議会 北方領土早期復帰祈願祭	納沙布金刀比羅神社 会長1名
周年	●				○			7	4	千葉縣護國神社慰霊祭・教養研修会	千葉縣護國神社 会長以下20名 会員外7名
	●							7	13~15	千葉縣護國神社みたま祭	千葉縣護國神社 献灯奉納
県西	●				○			7	22	祭式研修会	千葉県神社庁 会長以下8名 会員外2名
		●						8	2	神青協一都七県協議会第2回定例会議	神社本庁 会長以下5名
			●		○			8	22~23	神道青年全国協議会 夏期セミナー	神社本庁 1名 会員外3名
周年	●				○			8	29	神道行法練成会	香取神宮神徳館 会長以下5名 会員外3名
	●							8	31	千葉県氏子青年協議会総会	京成ホテルミラマール 会長以下3名
			●		○			9	5~6	神道青年全国協議会 竹島領土平安祈願祭	島根県隠岐 竹島の碑 会長1名
		●						9	10	第28回一都七県神職野球大会(千葉主管)	大井ふ頭中央海浜公園 会長以下12名 会員外2名
			●		○			9	19	群馬県神職青年会創立30周年記念式典	伊香保温泉ホテル木暮 会長以下7名
			●		○			9	20	宮城県神道青年協議会設立75周年記念式典	仙台国際ホテル 会長以下2名
	●							10	3	千葉・茨城合同懇親事業	ラウンドワン・マリンスタジアム 会長以下16名 会員外5名 茨城15名
	●							10	10	千葉縣護國神社秋季大祭 参列・助勤	千葉縣護國神社 会長以下6名
			●		○			10	13~14	神道青年全国協議会 硫黄島渡島事業	硫黄島 1名
	●							10	21	千葉県神社庁清掃奉仕	千葉県神社庁 会長以下6名
			●		○			10	28	東京都神道青年会創立75周年記念大会	東京ドームホテル 会長以下11名
		●						10	30	神青協一都七県協議会第3回定例会議	神社本庁 会長以下3名
	●							10	31	神道政治連盟千葉県本部定期大会助勢	ホテルニューオータニ幕張 会長以下2名
			●					11	6	神青協一都七県協議会懇親フットサル大会(千葉主管)	国立代々木競技場フットサルコート 会長以下9名
夷隅	●					○		12	1	会報第74号発行	
海浜鏡	●					○		12	2	忘年会	ホテルポートプラザちば 会長以下17名
		●				○		12	5	神青協一都七県協議会第4回定例会議・研修会忘年会	神社本庁 会長1名
	●							12	4~6	神道政治連盟千葉県本部 能登半島復興支援活動	石川県重蔵神社 3名
	●							1	27	臨時総会・新年会	TKP東京ベイ幕張ホール 会長以下24名
	●							1	29	千葉県神社庁新年互礼会	京成ホテルミラマール 会長以下2名
			●					2	5	神青協一都七県協議会第5回定例会議・顧問会・新年会	日本文化興隆財団 会長以下5名
周年	●				○			2	19	千葉県神道青年会創立75周年記念大会	京成ホテルミラマール 会長以下39名
	●							2	23	千葉県氏子青年協議会新年互礼会	いちの膳 会長以下3名
県南	●			○				2	25	献血活動	モルレルちば駅献血ルーム 会長以下5名
			●		○			2	25~27	神道青年全国協議会 伊勢の神宮写真展 助勢	神田明神文化交流館 会長以下5名
	●							3	15	飯香岡八幡宮1350年式年祭	飯香岡八幡宮 会長1名
県西	●			○				3	17	植樹活動	意富比神社 会長以下10名
			●		○			3	18~19	神道青年全国協議会神宮研修会	神宮・神宮会館 2名
			●		○			3	25	神青協一都七県協議会研修旅行	浅草神社 4名
周年	●			○				通年		麻冊子・ちばの木モダン神棚普及事業	5月16日神社関係者大会、6月3日神青協一都七県協議会第30回総会 10月7日大宮神社、10月19日香取神宮神職演奏会、10月27日國古神社神職演奏会
周年	●			○						襖桶、水槽購入	神道行法練成会
	●			○				通年		献血会場案内ポスター配信	毎月配信

県西地区: 千葉支部・市原支部・東葛飾支部・印旛支部

県南地区: 長生支部・君津支部・夷隅支部・安房支部

県東地区: 山武支部・香取支部・海浜鏡支部

千葉県神道青年会

協賛者名簿

(順不同・敬称略)

協賛金合計	高津比咩神社	大原神社	丹生神社	八幡神社	子守神社	大宮神社	三代王神社	子安神社	寒川神社	千葉縣護國神社	千葉葉神社	諏訪神社	稲荷神社	登渡神社	淺間神社	菊田神社	検見川神社	千葉支部
	中村正明	櫻井富士雄	金子裕子	市角明彦	中須賀邦徳	浅川常彦	小川憲道	伊原栄治	中須賀邦徳	竹中啓悟	山本陽徳	藤代正彦	大塚一彦	星次百太郎	宮間孝夫	伯耆田匡利		
	二九〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇

★千葉支部

★市原支部

協賛金合計	飯香岡八幡宮	大宮神社	姉崎神社	高瀨神社	白幡神社	八幡神社	建市神社	島穴神社	八坂神社	鶴峯八幡宮	大宮神社	原田諏訪神社
	飯香岡八幡宮	大宮神社	姉崎神社	高瀨神社	白幡神社	八幡神社	建市神社	島穴神社	八坂神社	鶴峯八幡宮	大宮神社	原田諏訪神社
	二〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇

★東葛飾支部

協賛金合計	諏訪神社	八幡神社	意富比神	諏訪神社	日枝神社	松戸神社	二宮神社	櫻木神社	八幡神社	子之幡神社	諏訪神社	香取神社	廣幡八幡社	天満神社
	諏訪神社	八幡神社	意富比神	諏訪神社	日枝神社	松戸神社	二宮神社	櫻木神社	八幡神社	子之幡神社	諏訪神社	香取神社	廣幡八幡社	天満神社
	三〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇

★印旛支部

協賛金合計	葛飾八幡宮	日枝神社	香取大神	柴崎神社	神明神社	八王子神社	駒形神社	駒形神社	竹内神社	子安神社	香取神社	白幡神社	清瀧神社	御嶽神社
	葛飾八幡宮	日枝神社	香取大神	柴崎神社	神明神社	八王子神社	駒形神社	駒形神社	竹内神社	子安神社	香取神社	白幡神社	清瀧神社	御嶽神社
	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇

★印旛支部

印旛支部	神社名	芳名	金額
			二二〇、〇〇〇

★長生支部

長生支部	神社名	芳名	金額
			一〇〇、〇〇〇

★山武支部

山武支部	神社名	芳名	金額
			六〇、〇〇〇

浦賀神社	八幡神社	雷神	銚子神	矢刺神	白山神	海上八幡	熊野神	水野神	渡海神	猿田神	神社名
千本松	荒木	嶋田	山崎	往古	行木	松本	藤城	品村	宮内	猿田	芳名
和昭子	昭正	昭正	昭正	昭正	昭正	昭正	昭正	昭正	昭正	昭正	金額
五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	

★海匝銚支部

豊玉神社	八坂神社	大宮神社	西坂神社	山倉神社	左右神社	八幡神社	木内神社	愛宕神社	神崎神社	小御門神社	香取神社	香取神社	側取神社	香取神社	神社名
郡篠塚	篠塚	宮賀	鶴崎	國友	上代	玉井	木内	岩城	神崎	廣瀬	香田	平山	石田	香取	芳名
光胤	修一	佐一	すみ江	英昭	光正	治夫	史紀	昭雄	克勝	隆造	重孝	泰孝	武紀	武紀	金額
一七〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	三〇〇〇〇	

★香取支部

岩井神社	鶴崎神社	高藏神社	神明神社	東明神社	滝口神社	諏訪神社	神明神社	高家神社	八幡神社	莫越山神社	鶴谷八幡宮	手力雄神社	諏訪神社	熊野神社	安房神社	神社名
川崎	金山	山本	滝口	鈴木	鈴木	北村	岡野	高木	諏訪	齋東	酒井	黒川	加茂	石井	岡嶋	芳名
重忠	靖幸	隆生	利和	昭彦	喜久男	哲郎	幹人	彰義	真弓	利文	彰昭	信昭	三美	千美	千曉	金額
一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	

★安房支部

夷隅支部	神社名	芳名	金額
			三〇〇〇〇

★夷隅支部

君津支部	神社名	芳名	金額
			一〇〇〇〇

★君津支部

協賛金合計	八重垣神社	八幡神社	神社名	芳名	金額
	齋藤政勝	藤末泰次			
一〇五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇			



御礼申し上げます。

これらも偏に諸先輩方の温かい御支援と、会員各位の御理解によるものと厚く協賛を賜りました。

本会活動援助のため、県下各神社神職に御芳志を仰ぎましたところ、多大な御

御礼

協賛金合計	相濱神社	八幡神社	瀧神	瀧神	神社名	芳名	金額
	藤森益樹	諏訪明子	代田健一	佐久間嘉子			
二一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇			

新入会員紹介

大澤 武志 (東葛飾支部)



- ①平成四年十二月十一日
- ②葛飾八幡宮
- ③権禰宜
- ④おしゃれでなければ意味がない
- ⑤旅行・雅楽

令和五年三月まで伊勢の猿田彦神社で神職をしていましたが、御縁をいただき市川市の葛飾八幡宮にて奉仕しております。千葉県のことはまだ勉強中ですが、どうぞよろしくお願いたします。

宮内 崇匡 (香取支部)



- ①平成七年十月十三日生
- ②香取神宮
- ③出仕
- ④中庸をもって旨とすべし
- ⑤映画鑑賞
- ⑥未熟者ですが、御指導御鞭撻を賜りますようお願いいたします。

- ①生年月日
- ②本務神社
- ③役職
- ④好きな言葉
- ⑤趣味
- ⑥ひとこと

祝御結婚

【東葛飾支部】

香取神社 宮司 森 美琴 岩武 凌 (令和七年十月一日)

御結婚おめでとうございます。末永いお幸せを御祈念いたします。

祝御出産

【香取支部】

香取神宮 高橋 総仁 穂乃果・長女 令和七年八月 中嶋 祐子 義和・長男 令和七年十月

卒業者

【香取支部】

東大神 宮 司 飯田 明宏 香取神宮 権禰宜 神島 崇 側高神社 出仕 石田麻由香

お知らせ

神青協中央研修会 場所 奈良県 令和八年三月二十四日(火・先勝) 三月二十五日(水・友引)



編集後記

お陰様をもちまして、令和七年二月十九日に当会創立七十五周年記念大会が無事に開催され、またそれぞれの記念事業も恙無く取り納めることが出来ました。

令和七年は皆様にとってどのような年でありましたでしょうか？今号の記事の編集作業をするにあたり、さまざまな思い出が蘇ってくるような気がしました。当会の研修会等各事業では、県内神職を始めとして広く参加者を募集する機会が多くあります。その際には、この会報を手にとられた皆様も奮って御参加いただけると幸いです。

最後に、本号発行にあたり、御多忙中御協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

(安房支部)

